

第4回特別職報酬等審議会で提供依頼のあった資料について

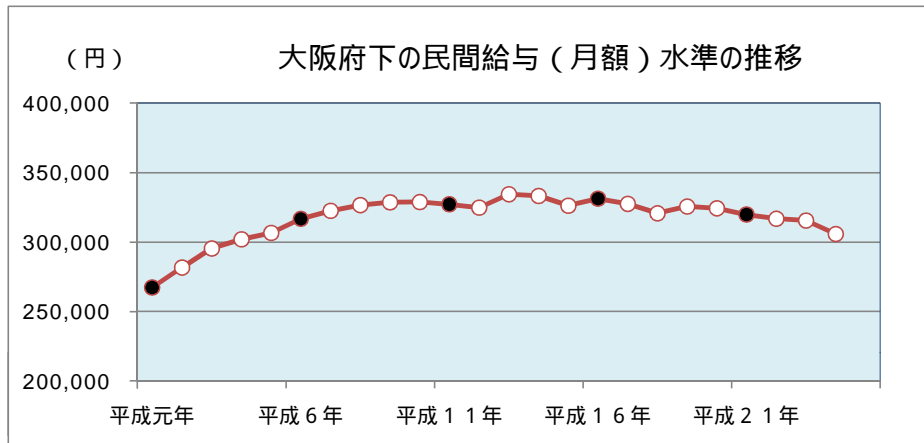
前回の審議会で委員より提供依頼のあった「大阪市民の平均所得の推移のわかる資料」については、本市、大阪府、国における各種調査等において該当するデータが存在しなかったため、類似のデータを収集し、平成元年からの推移を作成した。

大阪府下の民間給与(月額)水準の推移

(円)

平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
267,400	281,800	295,500	302,100	306,700	316,700
平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
322,600	326,700	328,700	328,900	327,200	324,900
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
334,500	333,300	326,300	331,200	327,600	320,800
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
325,700	324,400	319,800	316,900	315,600	305,900

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

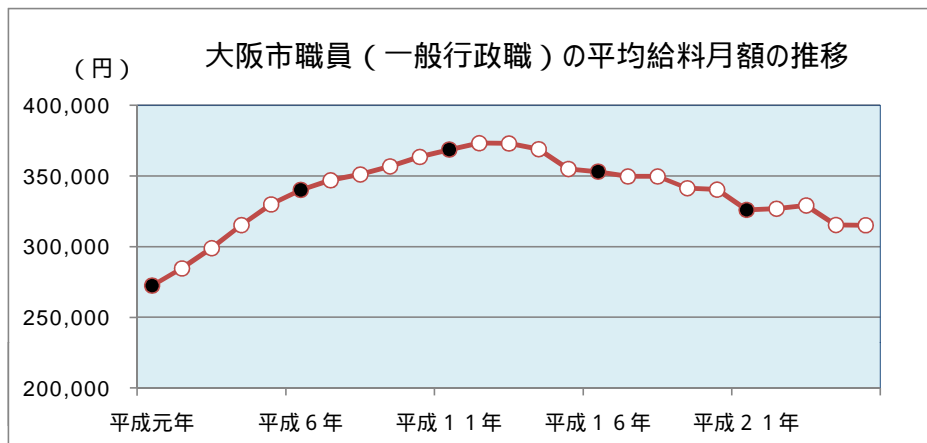


調査対象：5人以上の常用労働者を雇用する民営事業所及び10人以上の常用労働者を雇用する公営事業所

大阪市職員(一般行政職)の平均給料月額推移

(円)

平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
272,400	284,700	299,000	315,300	329,950	340,100
平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
347,000	351,100	356,800	363,500	368,600	373,200
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
373,000	369,000	355,000	353,000	349,700	349,700
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
341,400	340,400	326,000	326,900	329,200	315,400
平成25年	平成15年1月～平成17年11月、平成21年4月～平成26年3月は給料減額後				
315,200					

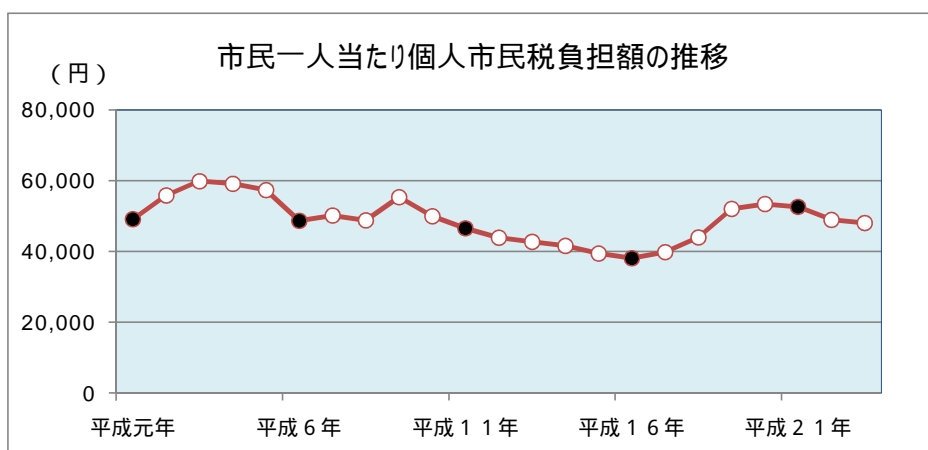


市民一人当たり個人市民税負担額の推移

(円)

平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
49,094	55,839	59,848	59,134	57,353	48,665
平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
50,174	48,805	55,353	49,967	46,527	43,908
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
42,745	41,604	39,441	38,077	39,827	43,985
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	
52,045	53,417	52,567	48,944	48,055	

大阪市「大阪市税務統計」より



主な税制改正

平成6～8年度 【減要素】定率減税(所得割額の15%～20%)

平成9年度 【増要素】定率減税打ち切り

平成10年度 【減要素】定額減税(8,500円、17,000円) 平成10年度のみ

平成11～17年度 【減要素】定率減税(所得割額の15%)

平成18年度 【増要素】定率減税の縮減(所得割額の15% 7.5%)

平成19年度 【増要素】定率減税の廃止(所得割額の7.5% 0%)

【増要素】所得税からの税源移譲

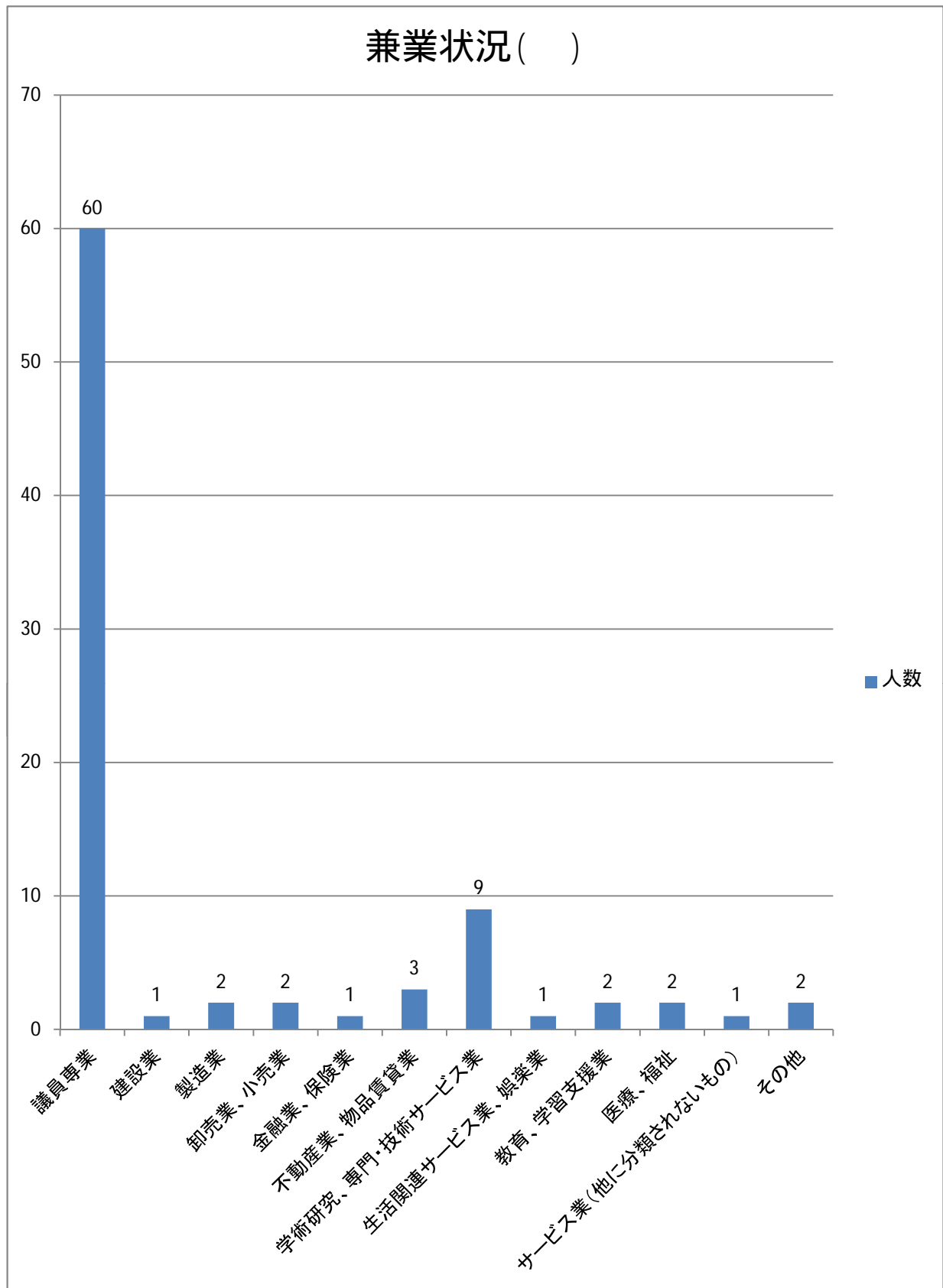
議会費及び事務局職員数の推移

事項 年度	【単位：千円】			事務局職員数（ 2 ）
	議会費（ 1 ）	うち、議員費	うち、事務費	
	対前年度比	対前年度比	対前年度比	うち、政策調査 担当職員数
17	3,124,862	1,732,082	1,392,780	65 人
	98.2%	100.0%	95.9%	13 人
18	3,022,258	1,690,648	1,331,610	54 人
	96.7%	97.6%	95.6%	10 人
19	3,016,301	1,743,250	1,273,051	50 人
	99.8%	103.1%	95.6%	11 人
20	2,980,252	1,750,661	1,229,591	47 人
	98.8%	100.4%	96.6%	11 人
21	2,838,324	1,695,861	1,142,463	42 人
	95.2%	96.9%	92.9%	11 人
22	2,794,214	1,648,853	1,145,361	41 人
	98.4%	97.2%	100.3%	9 人
23	3,051,391	1,978,816	1,072,575	39 人
	109.2%	120.0%	93.6%	9 人
24	2,669,128	1,618,957	1,050,171	38 人
	87.5%	81.8%	97.9%	8 人
25	2,913,052	1,821,564	1,091,488	36 人
	109.1%	112.5%	103.9%	9 人
26	2,838,198	1,792,069	1,046,129	35 人
	97.4%	98.4%	95.8%	6 人

(1)当初予算ベース。ただしH24年度のみ「当初予算（暫定予算）+補正予算」

(2)各年5月1日時点の職員数

大阪市会議員の兼業の状況



H23年改選時の経歴調書及び毎年の資産報告資料から把握できる範囲で集計

政令指定都市における特別職と一般職の年収比較(相場感)

(単位:円)

年額ベース

	市長		副市長	対市長		議長	対副市長		副議長	対議長		議員	対副議長		一般職最上位 (注)	対議員
大阪市	26,147,880	>	20,807,820	79.6%	>	20,088,000	96.5%	>	17,744,400	88.3%	>	16,237,800	91.5%	>	13,524,057	83.3%
19政令市平均 (大阪市除く)	22,211,756	>	17,535,953	78.9%	>	16,101,775	91.8%	>	14,495,719	90.0%	>	13,242,018	91.4%	>	12,075,700	91.2%
19政令市最大 (大阪市除く)	26,869,247	>	21,600,767	80.4%	>	20,206,375	93.5%	>	17,824,800	88.2%	>	16,330,050	91.6%	>	14,971,696	91.7%
19政令市最小 (大阪市除く)	17,591,280	>	13,721,820	78.0%	>	12,090,120	88.1%	>	10,878,000	90.0%	>	10,147,620	93.3%	<	10,227,498	100.8%
大阪府	21,772,200	>	17,118,600	78.6%	<	19,445,400	113.6%	>	17,118,600	88.0%	>	15,456,600	90.3%	>	13,167,746	85.2%

注) 一般職最上位は、大阪市のみ公募区長で他都市は局長級となる。

期末勤勉手当については、条例上の合計月数を基に算出

政令指定都市における特別職と一般職の年収比較(相場感)

年額ベース比較

(単位:円)

	市長		副市長	対市長		議長	対副市長		副議長	対議長		議員	対副議長		一般職最上位注)	対議員
大阪市	26,147,880	>	20,807,820	79.6%	>	20,088,000	96.5%	>	17,744,400	88.3%	>	16,237,800	91.5%	>	13,524,057	83.3%
札幌市	21,431,936	>	17,246,011	80.5%	>	16,928,600	98.2%	>	15,463,625	91.3%	>	13,998,650	90.5%	>	12,455,275	89.0%
仙台市	22,405,847	>	17,445,774	77.9%	>	16,603,050	95.2%	>	14,812,525	89.2%	>	13,673,100	92.3%	>	11,695,308	85.5%
さいたま市	22,550,878	>	17,725,026	78.6%	>	15,903,118	89.7%	>	14,210,258	89.4%	>	13,135,943	92.4%	>	12,593,418	95.9%
千葉市	21,912,660	>	17,677,440	80.7%	>	15,568,200	88.1%	>	14,061,600	90.3%	>	12,889,800	91.7%	>	11,830,632	91.8%
横浜市	26,869,247	>	21,600,767	80.4%	>	19,807,200	91.7%	>	17,824,800	90.0%	>	16,010,400	89.8%	>	14,971,696	93.5%
川崎市	22,677,875	>	17,960,877	79.2%	>	16,765,825	93.3%	>	14,975,300	89.3%	>	13,510,325	90.2%	>	12,930,749	95.7%
相模原市	20,274,839	>	16,599,803	81.9%	>	12,680,173	76.4%	>	11,605,858	91.5%	>	10,905,925	94.0%	<	11,196,050	102.7%
新潟市	18,073,020	>	14,592,060	80.7%	>	12,090,120	82.9%	>	10,878,000	90.0%	>	10,147,620	93.3%	<	10,395,912	102.4%
静岡市	20,850,000	>	15,679,200	75.2%	>	13,773,984	87.8%	>	12,286,260	89.2%	>	11,082,708	90.2%	<	11,347,345	102.4%
浜松市	20,668,245	>	15,019,680	72.7%	>	12,996,555	86.5%	>	11,604,645	89.3%	>	10,487,880	90.4%	<	10,525,812	100.4%
名古屋市	26,158,810	>	19,614,650	75.0%	<	20,206,375	103.0%	>	17,781,610	88.0%	>	16,330,050	91.8%	>	14,188,948	86.9%
京都市	24,785,785	>	19,614,650	79.1%	>	18,230,800	92.9%	>	16,765,825	92.0%	>	15,626,400	93.2%	>	11,918,299	76.3%
堺市	21,912,660	>	18,229,860	83.2%	>	15,903,000	87.2%	>	14,229,000	89.5%	>	13,057,200	91.8%	>	11,840,809	90.7%
神戸市	25,870,680	>	20,366,280	78.7%	>	19,015,200	93.4%	>	17,347,200	91.2%	>	15,512,400	89.4%	>	13,861,296	89.4%
岡山市	19,981,533	>	15,847,422	79.3%	>	14,229,000	89.8%	>	12,889,800	90.6%	>	11,885,400	92.2%	>	10,880,719	91.5%
広島市	22,587,282	>	18,104,310	80.2%	>	17,744,400	98.0%	>	15,568,200	87.7%	>	14,396,400	92.5%	>	12,366,786	85.9%
北九州市	22,239,846	>	17,592,714	79.1%	>	17,584,425	100.0%	>	15,809,850	89.9%	>	14,196,600	89.8%	>	12,107,329	85.3%
福岡市	23,180,950	>	18,544,760	80.0%	>	17,254,150	93.0%	>	15,789,175	91.5%	>	14,324,200	90.7%	>	12,104,428	84.5%
熊本市	17,591,280	>	13,721,820	78.0%	>	12,649,560	92.2%	>	11,515,140	91.0%	>	10,427,340	90.6%	>	10,227,498	98.1%
大阪府	21,772,200	>	17,118,600	78.6%	<	19,445,400	113.6%	>	17,118,600	88.0%	>	15,456,600	90.3%	>	13,167,746	85.2%
19政令市平均 (大阪市除く)	22,211,756	>	17,535,953	78.9%	>	16,101,775	91.8%	>	14,495,719	90.0%	>	13,242,018	91.4%	>	12,075,700	91.2%
19政令市最大 (大阪市除く)	26,869,247	>	21,600,767	80.4%	>	20,206,375	93.5%	>	17,824,800	88.2%	>	16,330,050	91.6%	>	14,971,696	91.7%
19政令市最小 (大阪市除く)	17,591,280	>	13,721,820	78.0%	>	12,090,120	88.1%	>	10,878,000	90.0%	>	10,147,620	93.3%	<	10,227,498	100.8%

注)一般職最上位は、大阪市のみ公募区長で他都市は局長級となる。
 期末勤勉手当については、条例上の合計月数を基に算出